

研究発表 I

発表者 相原高等学校 P T A 会 長 吉 田 奈々恵
相原高等学校 P T A 副会長 桑 野 純 子



学校名 神奈川県立相原高等学校 P T A

研究テーマ 「A i ♥ h a r a ～愛あるサポート 未来に向けて～」

1 はじめに

相原高等学校は、1922年に「県立農蚕学校」として設立され、2023年に創立100年を迎えます。2019年4月には、リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)の建設に伴い、長年慣れ親しんだ橋本駅前から南西へ1.5km地点にある現校地に移転しました。

相原高等学校の特徴は、農業科と商業科が併設された専門高校という点にあります。子ども達は、自然豊かな学校環境の中で、実践的な授業に取り組み、日々伸びのびと学んでいます。

学校の長い歴史に対して、私たち相原高等学校のPTAの歴史は新しく、2011年に組織されました。現在、①本部、②学級委員会、③広報委員会、④成人委員会、⑤交通安全委員会の5つの組織によって構成されています。

今回の一連の取組みに際し、私たち相原高等学校PTAは、「A i ♥ h a r a ～愛あるサポート 未来に向けて～」というテーマを掲げました。このテーマには、100周年という節目に向けて、これまでのPTA活動を振り返り、これからのPTA活動を、子ども達と一緒に考えていきたいという願いを込めています。今回の発表では、これまでの取り組み成果をまとめ報告しました。



相原高等学校の紹介については、こちらのQRコードをご覧ください。

2 「愛あるサポート」を目指して

— 子ども達へのアンケートから

私たち相原高等学校PTAでは、子ども達と今後の活動を考えていくことに先立ち、2・3年生を対象として、PTA活動の認知度について、アンケートを実施しました。アンケートの結果からは、次の2点が明らかになりました。まず、PTA

全体で行う活動、特に、「文化祭サポート活動」では、認知度が高いという結果になりました。一方で、各委員会が個別に行う活動について、認知度が低いということが明らかになりました。

3 「未来に向けて」の試みとして

— 子ども達との座談会から

アンケート結果を踏まえ、私たち相原高等学校PTAでは、子ども達との座談会を実施し、これからのPTA活動の進め方について一緒に考えました。

第1に、認知度が高かった「文化祭サポート活動」をより充実させるため、文化祭実行委員長の生徒さんをお呼びしました。文化祭実行委員長さんから、「生徒だけでは無理なところに、大人がいてくれて心強かった。また、困ったときにPTAの方が対応してくれて助かった。」という感謝の言葉をもらいました。PTAでは、今後も文化祭において、子ども達が最大限楽しめるよう「愛あるサポート」を続けていくことを約束しました。

第2に、生徒会との座談会を実施しました。この座談会では、PTA活動を子ども達にPRする方法を一緒に考えました。子ども達は、日頃の学習成果を踏まえた数多くのアイデアを出してくれました。私たちは、その中から「相原高等学校PTAのロゴを作り、活動をPRする」という意見を取入れ、新たに「PTAロゴ」を作成しました。

以上の子供達との対話からは、子ども達と共に歩むPTA活動のあり方を再認識しました。また、今回作成した「ロゴ」は、相原高等学校PTAの新しい財産として活用していきたいと思えます。



相原高等学校PTAの発表内容については、こちらのQRコードをご覧ください。